

国際高等研究所設立

国際高等研究所
けいはんな学研都市に移転・
開所式典

奥田東 元京都大学総長の
懇談会発足

1978 - '83 - '84 — '91 - '93

2000

国際高等研究所 30年のあゆみ

これまでの主な研究テーマ

- 2015年度実施の基幹プログラム
- 2015年度実施の研究プロジェクト
- 終了した研究テーマ

■理論生命科学

■安全科学

■比較幸福学
■複雑系の秩序と構造

■社会情報学
■情報論的転回
■わざ学

■人類の自己家畜化現象と現代文明
■生命体の多様性

■科学の文化的基底
■言語の脳科学

■政府統治(government governance)の研究
■環境と食料生産の調和に関する研究
■生物研究と生命
■ヒト遺伝子解析及び遺伝子医療に伴う倫理問題とそれへ
■情報市場における近未来の法モデル
■器官形成に関わるゲノム情報の解読

■物質研究における多角的協力の構築
■臨床哲学の可能性
■「一つの世界」の成立とその条件

■高度情報化社会の未来学
■種族維持と個体維持のあつれきと提携
■多様性の起源と維持のメカニズム

■公共部門における人材の配分
■東西の恋愛文化
■災害観の文明論的考察
■思考の脳内メカニズムに関する
■物質科学とシステムデザイン

■国際比較からみた日
■スキルの科学
■センサー論
■量子情報の数理
■21世紀の宇宙開発

IIAS塾ジュニアセミナー開始

国際高等研究所戦略会議
(ISC) 発足

設立30周年記念
フォーラム開催

けいはんな哲学カフェ“ゲーテの会”発足

—'11— '13-'14- 2015 —

と日本人長期政策アドバイザー

法モデル

の生物学
と社会

—自然・人間・社会の現象学

ナミックスからみた生命的システムの進化と意義

■アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築

■意識は分子生物学でどこまで解明できるか？

■交渉学の可能性—新しい世界の関係構築と紛争の予防のために—

■ジェンダーからみた家族の将来

■宗教が文化と社会に及ぼす生命力についての研究

■単分子エレクトロニクス現状認識と近未来実現へ向けての中核体制構築

■『ケア』から見た社会保障の新たな展望

■心の起源

■進歩主義の後継ぎはなにか

■産学連携の知的財産法モデル

■進化と文法

■コア・エグゼクティブと幹部公務員制度の研究

■多元的世界観の共存とその条件

■電子系の新しい機能

■学術研究機関における学術情報システムのモデル構築

■老いを考える

■ゲノム工学とイメージングサイエンスに基づく生命システム研究の新展開

■東アジア古典演劇の「伝統」と「近代」

■クロマチン・デコーディング

■分子基盤に基づく生体機能への揺らぎとダイナミックネットワークの解明

■計算機マテリアルデザインコピーマートの構築

■19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究

■スキルと組織

■認識と運動における主体性の数理脳科学

■グローバルゼーションと市民社会

■生命科学の発展に対応した新しい社会規範の模索

■文化財保全技術

■ネットワークの科学

■精神発達障害から考察するdecision makingの分子的基盤

■生命活動を生体高分子への修飾から俯瞰する

■設計哲学—俯瞰的価値理解に基づく、人工財の創出と活用による
持続可能社会を目指して—

■総合コミュニケーション学

■高度計測技術の発展と埋没

■細胞履歴に基づく植物の形態形成

■次世代情報サーチに関する総合的研究

■女性研究者と科学技術の未来

■すきまの組織化

■スナマとシステム—知のあり方—

■生物進化の持続性と転移

■人工知能に関する問題発掘型対話基盤と新たな価値観の創出

■領域横断型生命倫理プラットフォームの形成に向けて

■21世紀地球社会における科学技術のあり方

■人類生存の持続可能性～2100年価値軸の創造～

■多様性世界の平和的共生の方策

■「けいはんな未来」懇談会

と育成

■絵画と文学に表象される、時間と空間の脳による認識

■近代精神と古典解釈:伝統の崩壊と再創造

■数量的アプローチによる日本経済の比較史的研究

■ナノ物質量子相の科学

る総合的検討

■宇宙における生命の総合的考察とその研究戦略

■受容から創造性へ

■諸科学の共通言語としての数学の発掘と数理科学への展開

■天地人

■21世紀における文化としての設計科学と生産科学

■法と倫理のコラボレーション—活気ある社会の規範形成—

■メタマテリアルの開発と応用

本社会の自己決定と合意形成

宇宙環境利用の問題